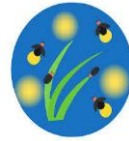




ほたる舞う学び舎

令和2年度 11月号

# 学校だより



あきる野市立一の谷小学校 校長 池戸龍一

い	命・人権・平和を大切に
ち	力いっぱいがんばり
の	伸び伸びと
た	楽しく活動
に	ニコニコ笑顔の絶えない
	「いちのたに」の子

## 一の谷小は これからも地域と共に 前に進みます

校長 池戸 龍一

先日は、爽やかな秋空のもと、無事、運動会を開催することができました。当日は、感染防止対策にご協力いただきながらの観覧となりましたが、多くの保護者の皆様にご来校いただき、本当にありがとうございました。また、地域の皆様にはあたたかく見守っていただき、合せて感謝申し上げます。

練習開始当初、児童会から上がってきた今回のスローガン「楽しむぞ、これがコロナへの倍返しだ！」を見た時、例年とは違う観点や表現に、これが小学校の運動会のスローガンとして相応しいか、正直迷いました。しかし、提案してきた担当教員、そして児童会の子供たちのこのスローガンに込められた思いを聞き、「これでいこう！」と決め、今回の取り組みがスタートしました。

運動会が終わって振り返ってみたとき、子供たちも指導に当たった教員も、このスローガンの通り素晴らしい勝負、また演技を披露してくれた姿から、形だけのものでなく、全員の心に貫かれたピッタリのスローガンだったと気付きました。敵は赤組でも白組でもなく、勝敗を越え、何としてでも自分たちの運動会を大成功させるぞ！というコロナに敢然と立ち向かう力強さを感じました。倍返しどころではない数倍返しの感動の運動会となりました。保護者の皆様には片付け等でも大変お世話になり、感謝の気持ちでいっぱいです。ご提出いただいたアンケートのご意見や励ましの数々、今後の参考といたします。本当にありがとうございます。

さて、学校は大きな行事である運動会を終え、次のステージに進みます。学校全体としては、充実した各教科の学習に加え、例年行われてきた伝統・文化理解教育にも取り組みます。今年度は実施が危ぶまれましたが、「こんな時だからこそ繋ぐのが伝統・文化である。」との思いから、形を変えてでも何らかの形で実施したいという意向を伝えたとこ、各保存会をはじめ地域の方のご理解ご協力をいただけることとなり、今年度は発表会はず、伝統・文化そのものを学び、体験することとし、それを映像としてまとめ、展覧会の際に観賞いただけるよう準備を進めてまいります。

また、6年生は11月19日より2泊3日で日光移動教室が予定されており、その準備に取りかかります。多くの行政区で中止とされる中、本市は、子供たちにとって貴重な学びの場と捉え、最大限の感染対策の上、実施を進めております。日光移動教室は単に観光が目的ではありません。仲間と協力して3日間を過ごすために計画・準備から学びがスタートします。班構成も重要です。学校生活とは違い、3日間を一緒に過ごすという非日常ゆえに、価値観の違いなどからぶつかることも出てくるでしょう。それを乗り越えていくことは、やがて社会に出たときに、様々な環境の中でも、自分を失わず、他者を認めながら、協力して生きていくための力となるでしょう。

今週は、こすもす学級も校外学習に出かけ、有意義な異学年児童の関わりが見られました。校長室の窓から見える秋川・加住丘陵も色づき始めました。実りの秋に相応しい有意義な2学期としてまいります。

**秋の実り(5年 はさがけ・脱穀) →**

